

# まちがら、ちがら。47

くらし・まちづくりコーディネーター  
ジャーナリスト 齋藤 喜以子

人も、野菜も、  
どびつきりの個性を生かす！

株式会社3・SUN・TREASURE

(神奈川県三浦郡葉山町)



カラフルでおしゃれ。目にも楽しいケータリング料理



横田さん著、食を通じた  
ライフスタイル提案のレ  
シピ集



代表取締役・フードデザイナーの横田美宝子さん。北欧のテキスタイルで培った感性を生かし、素材に新たな命を吹き込む

## テキスタイルの感性と食の融合

温暖な気候と、美しい海岸、各界名士の別荘や御用邸のあるまちとして知られる神奈川県葉山町。今回はこの葉山で、薬膳の考え方と四季のリズムを取り入れた独自の方法で、体に優しく、素材を生かし切る「養生ごはん」と「おやつ」のフレード展開をしている株式会社3・SUN・TREASURE（サン・サン・トレジャー）を取り上げる。「自然の色を食べる」という不思議なコンセプトを掲げ、企業や大学、障がい者施設などとの「コラボレーションを通じて、地域とのつながりを持ちながら、付加価値の高い商品開発や就労支援などを行っている。

躍していた。

横田さんに転機が訪れたのは、出産や7か

月にわたる闘病生活を経験したこと。改めて、食の大切さと、大地の恵みに感謝しつつ素材を生かすことの大しさに気付いた横田さんが、健康や環境を重視する時代環境とも相まって、一躍注目されることとなつた。

同社代表の横田美宝子さんは、服飾関係の短大を卒業後、スウェーデンに遊学して染色や刺繡などテキスタイル全般について学び、帰国後は、ショッップのディスプレイや専門学校の講師を務めるなど、テキスタイルの分野で活

事業としては、注文に応じてオーフィスやイベント会場・撮影現場にランチを届ける「カラフルランチBOX」や、料理の宅配から会場設営・パーティー中のサーブまでを行う「ケタリングサービス」。参加者と一緒に農業生

性と食を融合させて、『自然の色を食べる』と

産者を訪ね、交流ととれたて野菜で調理や講

義を行う「つながりめし遠足」、テーマに合わせたトークや調理実演を行う「フードセッション」など。

また、地域との連携にも目を向けている。食物学科の大学生と、キャンパス内で収穫した梅で作った梅酒とその実を使い、校章を模したマーガレットケーキを共同開発。東日本大震災の直後は、少し時間のゆとりができたことをチャンスと捉え、障がい者施設での菓子製造指導も行うようになった。

## 生産力×企画力でハッピーに

今回取材した社会福祉法人障がい者就労支援事業所の菓子工房では、以前から焼き菓子を作っていたが、コストが合わない、販路が広がらない、作業効率が悪いといった課題を抱えていた。そこで、1年前に「右手にそろばん、

## 自立と社会参加をめざして

〔障がい者就労支援事業所〕



道具の工夫で作業効率が高まり、てきぱきと手が動く。人気商品の雑穀ベジクラッカーは、砂糖不使用でおつまみにもおすすめ(右上)



森の中でランチを楽しみながらの「フードセッション」



生産者と交流し、とれたて野菜でアウトドアクッキングを楽しむ「つながりめし遠足」



キャンパス内でとれた梅を使って女子大生と共同開発したマーガレットケーキ

左手にロマン」を掲げる横田さんをフードアドバイザーに迎え全面的な改善を行うことに。製造工程も、作業が得意な利用者に合わせるのではなく、誰もができる仕組みに変えたところ、わかりやすくなつた。現在は朝9時から午後4時まで、13人の利用者がやりがいを見出し、熱心に取り組んでいる。

「福祉施設で作ったお菓子だからといって、おいしくなければお客様に受け入れてもらえない」と横田さん。改善策はと言うと、まずは、味の追求と材料の見直しを徹底し、併せて品揃えをスリム化することで、クオリティとコストの両立を図つた。次に、利用者の個性は一人ひとり異なるものの、誰もが参加できるよう適材適所への配置と、現場を熟知する職員が工夫を凝らした治具（作業用補助具）、簡潔な指示書などを用意。製造工程が、利用者

のみならず職員にも単純明快になり、作業効率も向上した。スマートな作業には声出しも大事。生地をこねる時の「切って、切って、ぐるりんば」や「握って、握って、ぎゅっ」といったリズミカルな「魔法の言葉」も発明した。1年が過ぎた今、利用者の表情は明るくなり、菓子工房に来るのが楽しくて仕方がないといった様子。コミュニケーションが苦手だった人も、自分からアピールしたいという気持ちが高まり、プレゼン上手になつてている。このような変化は、お菓子作りを通じて得た成長をみんなで喜び合える菓子工房の雰囲気が、自己肯定につながつたものと思われる。

今後について横田さんは、「小さな成功体験を積み重ね、価値を共有できる人たちとさらにつながり合うことで、大きな束のダイナミックな動きへ発展させていきたい」と語る。